明治廿六年十一月廿九日印刷
明治廿六年十二月一日發行

婦人衛生雜誌

第四拾九號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本婦人衛生雜誌
第四拾九號
目次

講演

●實扶垤里亞の話　ドクトル 金杉英五郎君

寄書

●少年子弟の衛生に就て　醫學士 山根正次君
●婦人須知（前号の續）
○嬰兒睡液と看護　醫學士 賀古鶴所君
●浴場行日誌（前號の續）　醫學博士 佐々木政吉君

衛生叢談

●古籾の試驗成績
●鯛田麩の分析試驗
●出産の期日を豫知する法
●卷煙草の注意
●鼻毛剃去の害
●生命の危險
●水道工事
●小兒膣の黴菌
●鰻の毒
●大陰囊の切斷
●小兒の食物の注意
●九州地方味噌釀造法
●生玉子の味
●野菜物の商況
●諸會の景況
●廣告數件

日本婦人衛生雜誌
第四拾八號
目次

講演

●色素の利害衛生上の注意　醫學士 山根正次君

寄書

●婦人須知（前號の續）
○產婦の產褥に在る日數○惡露○海綿○產室の空氣流通○產婦の食物○健康なる小兒の保育○流產○強壯なる嬰兒○尿と大便○臍帶○呼吸及脉○乳齒二十個の發育する順序○廣疽　醫學士 賀古鶴所君
●浴場行日誌（前號の續）　醫學博士 佐々木政吉君

衛生叢談

●ヘーデン氏の衛生家屋
●近視眼の原因
●血ある林檎
●日本人の齒と歐洲人の齒
●養生十戒
●美人と運動
●二年間の睡眠
●肺病患者と年齡の統計
●不衛生と不經濟
●醫師と死亡人との割合
●六種傳染病景況
●恐るべき流行病
●赤痢●傳染病患者
●諸會の景況●廣告數件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第四拾九號
（明治二十六年十二月一日發行）

講演

實扶垤里亞の話

（九月十六日富士見倶樂部大日本婦人衛生會席上）

ドクトル　金杉英五郎君演說

淑女！　今日は本會の御招きに預りまして此處に出て御話することの出來まするのは、私にとつて無上の榮譽であります、　私は演說に先だつて一言申上げて置きたい事があります。丁度二三ヶ月前の貴會の雜誌だと思ひますが當春日本醫學會に於て金杉ドクトルの演說中に、耳の病氣はお轉婆の女に多いと言ふたと記載してありますが、是は何か之を書取ッた人の間違ひと思ひます。私は其時の演說に歐羅巴及日本に於ける耳の病氣の統計を擧げて、其統計に據れば、耳の病氣は英吉利が最も多く其次が獨逸其次が伊太利、其次が日本でありますから、其邊の關係からして耳の病氣の一部分はお轉婆の女に幾分か關係が有りは仕まいかと言ふたのみの事で、お轉婆の女に耳の病氣が多いと斷言したのではありませぬ。また決して左樣な事のあろう筈がありませぬ、何故其關係が有ると考へたかなれば、英吉利にせよ獨逸にせよ、婦人の性質が活潑で御座います、活潑でありますからソレに伴ふ弊害もありまして夜も更くる迄酒でも飮んで騷いで居ると云ふやうな場合も多くあります。又寒さにも恐れず、日本の婦人のやうに家にばかり引込んで入らッしやるとは違ッてドン／＼戸外を步行きますから、耳病の原因は幾分か其邊にも關係が有るだらうと申したゞけのことで御座いますから爰に其誤りを正して置きます。

今日は耳若くは咽喉に關係した必要ある話を極く解

り易く御話したいと思ひましたがナカ〳〵六ヶ敷いので御注問通りに參りませぬ。段々考へましたのに、目下恰も實扶垤里亞流行の季候にあつて參りましたから、其の御話をするは甚だ必要の事と思ひますから、此事に就て簡單に御話をしたいと思ふ、其演說の前に本會に對して少々御挨拶を申上げやうと思ひます。

扨て此の衛生と云ふ事は耶蘇紀元前八百八十一年、即ち今より數ふれば二千何百年の昔でありますが、リクールグと云ふ人が始めて衛生と云ふことを唱へ出した。其後ソロンだとかピダゴラスだとか、アリストーテレスとか云ふ人々が衛生と云ふ事は人類の育ッて往くのに最も必要のことであると云ふ事を發明してより以來今日に至るまで、各國競ふて衛生の道を講じ、其原を定め、已に盛に實行するやうになりました、我日本國に於ても近來衛生の道が漸々開けて參りまして今日の所では歐羅巴各國に較べましても些も耻ることのなき樣になりまして、一般に俗間に迄衛生と云ふ文字を理解することが出來るやうになりました例へて申しませうなれば飴屋にもオコシ屋にも歯磨屋にも石鹼屋にも、衛生おこし、衛生飴と云ふやうに衛生の二字を頭に附けるやうになりました。是が即ち衛生の必要であると云ふ次第が一般人民の腦裏に這入ッたと云ふ一班を知るに足ります。實にヒゲヤと申し奉る衛生の神樣に對しても充分に孝行を盡したことゝ考へる。併ながら爰に一應私の合點の參りませぬことは、本會即ち婦人衛生會と名けたことであります。ドウして婦人衛生會として男子衛生會から分れたのであるかと云ふ事が、私の不審とします一點であります。

抑も衛生と云ふことは、希臘の「ヒギース」、羅甸の「サニテート」即ち健康と云ふことを譯した語であり

まして、正しく申せば健康學であります、健康學と云ふと多少男女の身体の構造に變りがありました所で、敢て男子と女子と區別するには及びませんと思ひます。彼のスタインと云ひ其他有名の人々が衛生を分ちまして、第一外交的衛生即ち萬國衛生公法、第二に兵事的衛生即ち海軍陸軍の衛生、第三に財務的衛生即ち經濟的の衛生第四に司法的の衛生、即ち裁判上で必要なる裁判醫學的衛生、第五に內務的衛生即ち一般公衆衛生と、斯くの如く別ちましたなれども、今時に至るまで男子衛生婦人衛生と區別を立てたひとは無きやうに思ひます。然るに本會は婦人衛生會として普通衛生會から別れて立ッて居ます、ソコが私の合點の往かぬ所であります。併ながら熟ら惟みるに古來我國の婦人は全体甚だ柔順なる性質を具へて居られまして、之に加ふるに堅忍不拔の氣象に富んで居らるゝからして、此の人世に最も必要なる衛生の事業を、兄や良人や其他傍人に托して顧みないでは甚だ相濟まぬと云ふ御考へからしてヒギアなる彼の女の神樣の御意を奉戴して、此會を與されました事と思ひまして深く感佩の至りに堪えざる次第であります。ソレで一言御勵まし申上けたきは此の衛生と云ふことは元來學問ばかりで出來るものではありませぬ。則ち堅忍不拔の氣象柔順なる所の性質を有する方々が御奮發あつたならばそれてこそ實に立派なる所の衛生學も又彼の衛生制度も成立ち得べき事と思ひます。例へは英吉利と獨逸と比較して見まするると、英吉利は如何に進歩して居りましても、醫學上に於ては獨逸に比して甚だ劣等なる地位に居ります。併しながら擴ッて其衛生的の一端に至りまするど、世界中英吉利に及ぶものは無き位に進歩して居ります。是はドウ云ふ理由かと云ふに所謂堅忍不拔の氣象が與ッて力あることゝ思ひます。

熱心の結果と云わさるを得ずです。謹で本會の隆盛を祝します。先づ詰らぬ御挨拶は扨措きまして先程申上げた實扶垤里亞の事に就て、簡單に其御注意のことの御話を申上げやうと思ひます。

扨て我々の生活上に於て最も悲しむべきとは何であるかと云ふに、親を失ひ子を失ひ、兄弟姉妹を失ひ朋友知己を失ふことであらうと思ひます、其の中でも何が一番悲しいかと云ふに、我々が多くの人より聞きたる所によれば、……甚だ相濟まぬ譯ではありますが、己れの子供を失ふたのが最も悲しいさうで御座います。成程是れはさうかも知れませぬ。私はまだ子僧でして子供を持ッたこともありませぬから存じませんが、人々から承りました所では是れが正直の話ださうで御座います。而して子供を失ふて悲しいのにも其程度が有りまして慘酷の体裁に因て子供を失ふ程悲しいことは無かろうとぞんじます。私の申上る迄もなく皆様も御存じでありませうが、此の實扶垤里亞は今申した悲しき中の最も悲しき事で、即ち子供に多く發する病氣で、然も其の病氣のありさまは頗る慘酷にして、且つ死亡する者が最も多いのであります。此に明治九年から同二十五年までの間の同患者の死亡數を日本の衛生局で調べた表が御座います。此患者の多數は無論小兒に違ひないのであります。斯くの如く死亡して居ります。

明治九年	患者　百六十三人	死亡　二十七人
明治十年	患者　五百八十六人	死亡　百九十二人
明治十一年	患者　四百三十人	死亡　百三十二人
明治十二年	患者　千二百八十人	死亡　五百三十四人
明治十三年	患者　千七百八人	死亡　七百二十九人
明治十四年	患者　二千三十三人	死亡　千百十人
明治十五年	患者　千九百四人	死亡　千七十九人
明治十六年	患者　二千三百七人	死亡　千二百三十一人

明治十七年	患者 二千二百三十五人	死亡 千二百六十六人
明治十八年	患者 二千七百九十六人	死亡 千七百三十九人
明治十九年	患者 三千二百六十五人	死亡 千四百六十五人
明治二十年	患者 二千七百四十一人	死亡 千四百二十九人
明治廿一年	患者 二千五百八十二人	死亡 千四百五十人
明治廿二年	患者 二千六百六十九人	死亡 千四百九十五人
明治廿三年	患者 二千四百四十八人	死亡 千四百三十八人
明治廿四年	患者 三千四百二十九人	死亡 千九百七十四人
明治廿五年	患者 四千三百五十九人	死亡 二千五百三十一人

恐らくは此席に入らせらるゝ貴婦人方の中にも、實扶垤里亞の爲めに令兒や令孃を御亡しになつて、或は此の表の中に這入ツて居らるゝべく即ち此表を御覽遊まして紅涙御袂を御しぼり遊ばす方もあらうかと思ひます。斯くも我々は實扶垤里亞の爲めに可愛の子供や弟妹を、慘酷なる有樣に奪ひ去られます。故に實扶垤里亞のことを御話致し、且つ此事を深く研究致しまするとは、實に今日の要務であらうと思ひます。今私は此の實扶垤里亞の豫防法を述べまする前に、此の病氣は如何にして發するか、其「バチル、ス」の發生は如何である乎、其の實扶垤里亞の發したる有樣は如何である乎と云ふ事を、簡單に御話して、而して其注意即ち豫防法に就ての御話をしやうと思ひます。

第一實扶垤里亞發生の理由は重に呼吸機の上部即ち息を吸ッたり吐いたりする所、鼻や喉、氣管等に發しまする、急性の傳染病でありまして、同時に全身を犯しまする事は、甚だ稀なる所の者であります。ソレから此實扶垤里亞と云ふ急性傳染病の發する時候は何時かと云ふに是は氣候と大に關係を有するものでありまして、一般に中等の温度に於て發生するのは極めて稀でありまして、寒さに向はんとする氣候、暑さに向はんとする氣候、暑さと寒さの間の時候、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

詰り不順の時候に發生する事が最も多くあります。此處には明治十年からして明治十六年迄の實扶垤里亞患者の月別を掲げてあります。即ち

一月	六百三十二人
二月	六百四十六人
三月	七百八十四人
四月	八百八十八人
五月	七百九十七人
六月	七百四十一人
七月	七百四十五人
八月	七百六十人
九月	八百三十人
十月	九百二十六人
十一月	八百六十三人
十二月	七百四十二人

右の通りであります。ソコで月の中では何月が一番多いかと云へは、十月が一番多くあります。九月十月は追々寒さに向はんとする時でありますから一番多い。其次は四月でありまして、四月は將に暑さに向ふの季候でありまして此の兩度に於て最も實扶垤里亞患者が多いと云ふことを知るに足ります。

ソレから實扶垤里亞は如何にして諸方に蔓延するかと云ふに、實扶垤里亞の蔓延しまするのは多くは幼稚園及小學校などが媒介物になりまして、最も近き所の媒介物は呼吸機、或は涙とか涎とか鼻液とか啖とか云ふものが、最も近き所の媒介となります。其他衣服なども媒介となり、或は石盤草紙筆の如きものも媒介物になります。グルハルトと云ふ有名の先生でありますが、其人の說に從へば猫雞なども媒介物となると云ふことです。

實扶垤里亞患者は大人に多いか小兒に多いかと云ふに是は先程も申上げました通り重に小兒を侵して參

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所のものであります。而して一歳未滿の者には少なく、一歳から五歳までの間が一番多い。五歳から十歳までは少し減じまして、ソレより齢を重ぬるに從ッて減じます。爰にモンチと云ふ人とヘルッと云ふ人の拵へた死亡數の表がありますが、矢張り是も病氣の數に余程關係があります。最初の一歳未滿と云ふのは患者數には關係はありませぬが、ソレより下は皆關係が有ります。

モンチ氏及ヘルッ氏實扶垤里亞患者死亡數

一歳未滿	八十%
一歳ヨリ三歳	四十五%
三歳ヨリ五歳	四十%
五歳ヨリ十歳	十七%
二十歳以上	五乃至十%

今度は實扶垤里亞の原因であります。其原因はドウ云ふ譯であるかと云ふに、是は少し學問上に渉ッて、此席で御話するのもチト妙でありますが、幾らか面白いであらうと思召す方があらうと思ひますから簡單に御話を申上げます。實扶垤里亞の原因に就ては昔から種々なる説があります。或は丹毒の如き毒物であると云ふ説もあり、或は瘧の如き間歇熱と同じやうの病氣であらうと云ふ人もあり、又甘諸馬鈴薯、麪麭などが原因になると云ふ説もあります。或は腐りかゝつた食物等が原因となると云ふ説もあります。然るに明治十七年即ち今より九年前に、獨逸のレフレルと云ふ人が種々研究の上に一の黴菌を發見しました、其際にレフレルは一ッの環状になつて居る黴菌即ち「バチルス」と、一ッは球の如き形になつて居る球狀黴菌「コックス」と云ふ二ッの黴菌を發見して、黴菌學上の試驗に依て、鼠や猫などに植ゑて試みました所が、同じく實扶垤埋亞の有樣を呈しまするので、畢竟是が實扶垤里亞の原因であるに相

違ないと云ふ事を報道されましたから、今日に至りては何人も之を疑ふ者はありませぬ。併しながら其後是れは環狀の方が眞物であるか、球狀の方が眞物であるかと云ふ事に就て、色々と硏究がありまして、「クレブス」氏が種々と試驗を致されて、別々に動物に植えましたり、或は態々其の黴菌を他の處に於て培養し成長させましたり致しまして、遂に環狀の「バチルヽス」の方が實扶垤里亞の原因と極り、今日では實扶垤里亞「バチルヽス」或は發明者の名を取ッてクレブス氏の「バチルヽス」とも申します。先づ是れが實扶垤里亞の原因の御話であります。

第二　實扶垤里亞發病の狀態、並に實扶垤里亞の發したる經過であります。之を簡短に御分り易いやうに申上げます。先づ初め實扶垤里亞に罹ります時には、寒氣が致しまして身体が熱く少し渴いて參り、嘔氣を催ふし、首から脊にかけて、或は脊中から腰の邊に痛みを覺え、咽喉は少し渴いたやうになり、食物を嚥下す時に少し痛みを感ずる。且つ小供の最も多く訴ふる所は喉に何か有るやうな心地がすると云ふのが、此の病氣の初まりであります。其他咳なども起ります、涎も多く出るやうになります。ソレから氣分か大層惡くなつて、平常は好んで遊ぶ事も一切擲ッて、何となく勞れたる如き顯象を呈します。小しく物心ある小供なれば、頭が重いとか痛いとか言ふやうになつて參ります。尾陋の御話ですが大便は秘結したり或は下痢したりすることが有りますが、何れにか症候を起します。併し多くの實例に依れば大便は秘結する方が多いやうであります。熱は如何であるかと云ふと、熱は肺焮衝或は窒扶斯などに較ぶれば普通の熱の出方でありまして、三十七度五分から四十度位に登ります。脈は小さく且つ早い一分時間に百から百二三十位も打つやうになり

ます。音聲は短くて大きい、且つ枯れ聲で鼻聲になります。併し咽喉とか鼻とか氣管とか、病氣の發する場所に因ていろ／＼でありますが、先づ大体は斯くの如き症狀を見ます。ソレから病氣が進んで來るに從ッて、喉が塞がるやうになりまして、呼吸する所の筋肉が痺れて參ります。而して漸々と見るに忍びざる慘酷なる有様に立至るのであります。先づ是だけは一通り御存じあつて敢て差支へなきことゝ思ひます。次には最も眼目とすべき實扶垤里亞の注意即ち豫防法、及び發病後の處置であります。

第三　實扶垤里亞の豫防法及び處置、第一豫防に注意致しますには、下水、堀、溝渠などを能く掃除致し、新らしく建てたる家に住居には、壁などの能く乾きたる後に住む様にし、咽喉、鼻等の病氣ある時は速に治療を致すが宜しい是が先づ公衆衛生的に必要なる點てあります。斯くの如く溝渠や近邊の堀などが奇麗になつて居り、實扶垤里亞の來やうと云ふ場所か清潔になつて居れば、如何に彼れ實扶垤里亞が飛込んで參りましても、住居すべき場所がないから、縦令這入ッても永く生きて居ることが出來ず、或は清潔で奇麗過ぎる所から這入り得ずして立去るのであります。

第二には近處若くは自分の家に實扶垤里亞患者の出來た時には、他の健康の子供を速に他の氣候の温暖なる場所に移して、其病人が幸に恢復しました時は、其の房室を清潔に致し、何ケ月間もかつゝて能く奇麗にしたる後でなければ、其房室に他の子供を入れることは成りませぬ。一度實扶垤里亞患者の住んだ房室の掃除方に就ては、昔からいろ／＼有りますけれども、最も簡單にして行はれ易き方法は、第一に硫黄の薫蒸法を行ひ、其の部屋にある所の「バチルヽス」を逐出し、疊、椅子「チーブル」等は、石

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鹸を以て能く之を拭き、其の後に五十倍の石炭酸水若しくは千倍の昇汞水を撒布しまして、其上を拭き取ると云ふやうにしなければなりませぬ。斯くの如くする事五回も六回も十回も致しましたる後に、初めて其室に人の入ることを許します。

第三には實扶垤里亞の蔓延を防ぐ方法、是が甚だ必要なる點であります。これは一番宜しいのは衛生警察の命令に從ふと云ふ事であります。若し實扶垤里亞患者の在ッた時には、直ちに警察署に屆出でまして、警察官若くは警察醫の指揮に從ッて防腐するとか、或は病人の部屋を定めるのが必要であります。

蔓延を防ぐには此の方法に勝ッたことはありませぬ。一般の人は傳染病があつても之を屆る事を大變に厭がる。何故かと云ふと巡査が來て石酸炭を撒かれるから世間に對して困るからドウか屆けないやうに致したいと、我々も是は度々問はれることでありますが、全体甚だ間違ッたことでございます。所で斯う云ふ例がある、某醫師が實扶垤里亞患者を診察した。其家は立派な家でありますが、醫者に向ッて是は屆けずに置て、呉れと云はれた、醫者も餘程意苦地が無い醫者であつたと見へて、其儘にして屆けずに措いた所が、漸々蔓延して兄弟に傳染り、大人に傳染ると云ふやうになつて、遂に二三人殪れて仕舞いました是れは甚だ宜しくないことで自分で自分を殺すと同じことです。ソレ故實扶垤里亞に罹りましたならば、衛生警察の嚴命に從ッて直に屆け出て、其の蔓延を防ぐのが一番肝心であります。

ソレから實扶垤里亞の蔓延を未發に防ぐのはドウであるかと云ふに、實扶垤里亞の流行する時には、子供を學校に通はせないことであります。小學校や幼稚園に參らぬと云ふ事であります。元來小學校なぞのやうに多勢居ります子供の中には、誰れに實扶垤

里亞の毒が附いて居るか分らない。誰れから傳染するともなしに傳染するから、寧ろ學校を實扶垤里亞流行中は休ませると云ふのが必要であります。ベルリンの有名なる小兒科醫ヘノッホと云ふ先生の申すには、實扶垤里亞蔓延を防ぐには一年中學校を閉ぢて仕舞うと云ふ、此の方法が宜からうと思ふと。實際蔓延の恐れある場合にはドウしても小學校や幼稚園を閉ぢまする場合が起らうと思ひ升。先づ此れだけが實扶垤里亞に罹らぬ前の處置であります。

今度は小供が實扶垤里亞に罹ッた後の處置であります、若し不幸にして愛兒が實扶垤里亞に罹ッた時には、第一大なる室を小供の病室に與へ空氣の流通を充分にすることが必要であります。私の考へでは大きな部屋も宜しいけれども、最も宜き方法は部屋を二ッ置いて、晝は此方、夜は彼方と云ふやうに、空氣の交換をして居りましたならば一層宜からうと思ひます。而して室の中には看病人の數の成るべく少なくして一人若くは二人と定め、兄弟姉妹等も餘り度々這入るのは宜くありませぬ。第一には傳染の虞れがあり、第二には室内の空氣を惡く致します。此の二點からして室内に多くの看病人を置くのは宜しくありませぬ。其次は食物であります。食物も實扶垤里亞の病人には甚だ必要であります。ドウ云ふ物が宜しいかと云ふに、極く柔くして、量が少なく滋養分の多いものを擇ばなければならぬ。隨分お粥が嫌ひとか、牛乳は嫌ひだとか、ダヾを申す小兒もあるが、サウ云ふことは叱りつけても飲ませなければならぬ。其の宜き食物とは、牛乳、濃き「ソップ」或はロイベ氏の肉「エキス」、茶、咖啡、白麵麭「ビスケット」、粥、水飴「コリンスターチ」の菓子などであります。斯の如きものが最も宜しい。「コリンスターチ」の菓子製造法は既に貴婦人方は御承知

でありませうが、私も大層之を好み、又常に喉の病人などに侑めます。爰に其の處方を一寸申しませうなれば、其の製造法も極く簡單に出來ます。「コルンスターチ」の粉二匙と鷄卵黄白共三個を混和し別に牛乳三合五勺に白糖四匙を煮立て其煮つめたる處に先きの「コルンスターチ」鷄卵の混和物を入れ直におろして混和るのであります。それから水或は氷の中に入れて置くと、固くもなく柔くもなく、丁度好い加減のものになつてありますそれに「ジャム」に赤葡萄を混和せる者をつけてたべるときは格別臭くもなくして食しよく、風味もなか〳〵好きものになります。

序に一寸御話して置きたいのは、此の實扶垤里亞と云ふ病氣は、醫學の進歩に從ッて減ッて來るかと云ふに、決して減じない。第一死亡の統計表を見ても、明治九年から、明治十四五年迄は統計の法も不完全であり、屆け方も死亡の屆出も不完全でありますから、判然とは分りませぬが、其後に至ッて患者の數も殖え、死亡の數も比較的に非常に殖えて居ります。之を以て觀ても實扶垤里亞の治療法の進歩したこと ゝは思はれませぬ。私は今日我々の愛兒を失ふことの最も多き實扶垤里亞の事に就き、益々精勵して其病原を研究し、治療法を充分にしまするのは、甚だ今日の急務であると思ひます。私も不肖ながら耳鼻咽喉の專門醫で御座いますから、昨年四月歸朝以來傍ら此の事に盡力して居りまして。治療上の成績も大に宜しい積りであります。故に充分なる一定の治療法、一定の成績の出來ました以上は、再び本會の席を汚して、御話し申上ぐることもあらうと存じます。

（完）

寄書

◎少年子弟の衛生に就て

右は醫學士山根正次君の庚寅新誌へ寄せられ且又本會へも寄送せられたるものにして少年子弟の衛生に就て述べられたるものあるが今同氏の前の演説と相對照の爲め茲に記しぬ

前略少年子弟の衛生に就は實以て澤山なるとにて何から言はふかと案じる程でありますから、先づ目につく事から言はふと思ひついて、何が一番に目につくことかと申しますれば、少年子弟の煙草を吹かすことで御座います、併し煙草の噺は、是れまで度々したことですから、其の噺を御聞きに爲つた方には、珍らしくもないか知りませんが、少年子弟の爲めになるべき衛生の事にて、一番に目につくことゝ申しますれば、少年子弟の煙草を吹かすのが、衛生上第一の害毒で御座いますから、其の害毒ある譯を述べて諸君の注意を願ふことであります。

昔は若いものゝ煙草を吸ふことは、餘程八ヶ間敷ことで、元服をして一人前の男にならなければ、煙草を吸ふことは出來なかつたことであります。元服をすると云ふことは、今の若い御方には分らん方もありませうから、一寸元服と云ふことを申しませう昔の元服と申すことは、總髪のチョン髷の前髪を取ることであります、總髪のチョン髷とは、前髪を剃らぬことで、少年子弟は誰れも前髪を剃らずして、總髪のチョン髷を結ふて居りました、所が其の少年が一人前の男にあると云ふ時、今で申せば丁年に達した、二十に爲つたと云ふ時には、前髪を剃つて一人前の男になると云ふ習慣で、二百六十有餘の大小名の藩々で習慣の違つて居た所もあつたと思ひます、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

元服するの時が早いので十五歳、夫れから十六歳、十八歳、二十歳と云ふ様なことでありましたが、苟くも元服をした以上は、一人前の男と云ふので、責任が重く爲つて來ます、夫れ故吸ふことの出來ぬかつた煙草も、始めて吸ふことが出來ると云ふ譯でありますが、若しも元服をしない内、に一服の煙草でも吸ふことがあつたなら、其の若いものは、父兄より嚴しく折檻せられる計りではない、隣り近所のものより、友達朋輩のものまで、寄てたかつて嘲り笑ふと云ふ自然の制裁がありまして、乳臭い口などで、ナカ／＼煙草を吸ふの何のと云ふことは、絶えて御坐いませだつた。

所が只今になつて見ますると、社會の制裁は勿論、家庭の制裁も大に緩るんで、内に憚る父兄なく、外に畏ろしき師友なく、氣隨我儘増長して、マダ七八歳の小供で巻莨を吹かすものが御坐ります、タッタ此の間のことでありますが、私の所へ或方が小供を連れて來られまして、先生、先達てより久しく御世話樣になりましたが、此の子はどうも今に喉が悪るくて困りますと言はれますから、私も變なことだ、モウ直らなくてはならんころだに、まだ喉が悪るいとは不思議のことだと思ふて、マー御見せなさいと云ふて、先づ喉を見て、胸の方を見やうと思ひまするうち、其の子供の懐ろより巻莨の小さい箱が落ちましたから、私は申しました、イケません、私はもう診察してはあげません、御歸りなされと申した、そしたら其の連れて來られた方が、ドウも相濟みません、餘り子供がせがみますから、買つて遣りましたモウ、是からは買つて遣りません、御前も御ヨシなさいよと、子供へも云はれまして、子供も過まりました、先生是れからは飲みません、過まりました先生御免るしと、親子して申されますから、ソンナ

ヲ彌々止めるか、彌々止めると云ふので、莨を飲まぬやうになりましたら、直に喉もよくなりましたが其れから聞いて見ますると、其の子供ばかりではない小學校へ行く子供等がみんな、烟草を吸ひ卷莨を吹かして居るそうですが、實に驚き入つた咄で御座います、此れは眞の一時の物眞似よりして、吹かして見る丈けかも知れませんけれども、一時の物眞似も數十度重なりまして、習ひ性となりまするときは、衛生上其他言ふべからざる弊害を起します、固より子供の煙草を吸ふことは、父兄も、教師も、共に善いこととは思ひますまい、否な其の弊害になることは、十分承知でありませう、けれど何分にも平生の取締が行き屆かぬ所からして、看す〳〵少年子弟を弊害に落し込めるやうになります、ダカラ少年子弟の烟草を吸ふことは、昔の通りに、何んとかして嚴しき取締をせんければなりません、就ては世の父兄教師たる方々の御參考までに、學理上よりと、歷史上よりと、烟草の利害得失を說き殊に少年子弟に及ぼすべき結果影響を演べませう。

「タバコ」とは、烟草の出來る土地の名で、西印度の一島「タバコ」より出來たる故に、其の名を「タバコ」と云ふたものだとも申し、一說には、烟草道具の名であつたものを烟草の名にしたものだとも申し、マタ或說には、淡婆姑と云へる女が居て、其れが疾持ちで難儀しました所が、長の年月が間、此の草をたべて、其の病氣が直つたから、其の女の名を取て、草の名にしたものだとも申しますが、ドレが本當なるかは知りません、併し夫れは兎も角もとして、烟草の出來る土地の原名だと申すことが、事實のやうに思はれます、其の子細は烟草のことを、羅甸語にては「ニコチアナタバキユム」と申します、此の「ニコチアナ」は、千五百五十九年頃、佛蘭西人「ジヨ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ンニコチン」と云ふ人が、同國の全權公使として葡萄牙へ在留の砌、和蘭人より烟草の種子を得まして、（其の和蘭人、米國の「フロリダ」から得たと申すことであります、）「ニコチアナ」は、夫れから之を佛蘭西の女王に献上したのが本だと云ふことであります。

さて右の烟草は、元來何と云ふ所より出來だし、何と云ふ人が見付け出し、何として世界中に蔓延したるものかと云ふことを申しませう、只今より四百年前までは、開化した國々の人民は、丸で烟草を吸ひ慣れだつた計りではありません、烟草と云ふものが何所に在るものやら其れさへ知らなかつたので、其の節用ゐよつたものは、唯亞米利加の土蠻のみでありました、所が千四百九十二年、即ち日本の明應元年頃、有名なる閣龍が「キユバ」島を發見しました時、二人の水夫を上陸させましたる所、二人のものが歸て來て申しまするやうには、陸上の景色、目に觸れ耳に聞くもの、何一つとして奇態に感ぜんものはないが、中にも奇態中の奇態なるは、アノ眞つ躶の土人共が、口に火把を銜はへて、鼻からも口からも、一所に烟を吐き出し、頻りに草の葉を捻つて、其れを薫ゆらす有樣、丁度鬼か化物かのやうに思はれますと申したそうです。

（以下次號）

◎婦人須知（前號の續）

嬰兒唾液と看護

醫學士　賀古鶴所君

五ヶ月にして始めて澱粉を糖質に化し即はち消化の作用を生す故に五ヶ月以前に於ては唯々乳汁のみを與へて養育し麵麭米飯粉類菓子等を與ふべからす爲に消化機を損し嬰兒の發育を害すると少からす殊に薄弱なる嬰兒に於ては初め八日間乃至十四日間

は室内を煖むへし最適の温度は攝氏十七度なりとす

新爽の外氣に直接するは温暖の候に於ては分娩後九日の後寒冷の季節に於ては八乃至十二週の後にして始めて可なり而して暖和の日を撰ふへし但し最適なるは日に數回暫くつゝ外氣に觸れしめ冷すに至らさるへし決して嚴風に觸るゝ可らす之れに先ちて外出すれば必らず害あり邦俗に據れば季節に關せす分娩後僅に一ヶ月を經て宮參り等に外出するを常とす為に生命を損すると少からす宜く注意すへし

嬰兒を看護するには決して動搖等なす可らす往々眩暈を發し且つ遂に習慣となりて動搖せされは睡眠せさるに至る但し時を定めて哺乳せしめ身體は常に乾燥清潔に保ち而して其安靜を妨けされは假令動搖せすとも能く就眠る者とす

嬰兒は常に安靜に看護し喧噪を避くへし驚愕畏懼せしむ可らず甚た害あり

嬰兒若し啼號するも遽しく之を鎭靜せしめんとなす可らす往々痙攣を發す或は重症の疾病に陥ゐるとあり

小兒若し立歩を習はゝ放任して自身に匍匐且つ立歩せしむへし決して其手を取り若くは為に種々の器械等を設く可らす

健康なる嬰兒の有様

筋肉强實にして皮膚紅色を帶ひ睡眠安靜を嗜み食氣平等動作活潑にして眼球光澤を帶ひ屢々尿を漏らし而して尿の質は澄明にして臭氣を帶びず大便は連續し箇々相離れす黄色にして其質煮たる卵の如く而して凝固せす粘稠ならす又惡臭なからす

嬰兒の健康如何を撿するには其體量を秤量するに若く者なし例之は視查上に於ては別に異常を認めざるも體重を秤量し其大に減却せるを見て始て健康を失へると既に久しきを知ることあり秤量に依らずて榮養

の如何を知らんと欲せば上脚の内側を撿すべし此部は常に肥滿し且緊張して彈力を具ふれとも少しく下痢すれば則小皺を生じ又消化不良持續すれば漸く弛緩して皺を生じ漸く全身に及ぼす而して榮養常に復すれば皺波漸く消退し肥滿緊張等も亦常に復す

◉浴場行日誌（前號ノ續）

醫學博士　佐々木政吉君

「モール」層は林間にあり黒色を呈し鐵錆色を帶ぶ廣さ凡二三千坪なるへし以爲らく林中樹木の根幹枝葉腐朽して此層を作るものあらんか其採堀の面を見るに明かに粘土層との限界あるを知る

余マリエンバットの地勢を相するに南に開き東西には「テープル」連山に依て圍まれ北は林岡を負ふ蓋し亦一の「ケッセルタール」なり其繁榮固よりカル丶スバットに及はすと雖とも人家彼れか如く密接せす戸々空地を置き田舍の風光に富むに至ては遙にカル丶スバットに勝るべし夏時療客の此地に來るもの一萬五千人以上なりと（浴場通行の人を算せず）米人、獨人、瑞典人、波蘭人等にして魯人は近年著しく減したりと蓋し國際上の關係あるに由るか

マリエンバットの人口大約四千あり

季節は五月の初めより十月の始めに至る

マリエンバットは鹿、兎、鯉、山鷸魚等に富む

「マリエンバット」は冷泉にして飲療を主とし兼ねて浴療を行ふ神經衰弱、腸胃加答兒、肝臟肥大等に効著しと「マリエンバット」泉鹽は墺國大學教授ルウドウキヒ氏の分析を受けたり（分析表略）

マリエンバットも亦一市を爲す然れ共此邊の地面鑛泉森林擧げて一の舊教寺院の所有に屬し彼の「カル丶スバット」市か鑛泉より生ずる利益を以て市の共有財産となすものと異れり故に住民は皆借地人なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マリエンバットは海面を抜くこと六百二十八「メートル」の高さにあり一年の平均温列氏の六度なり「マリエンバット」泉の有名なるものを「クロイツ」泉「フェルヂナンド」泉となす硫酸曹達を含むの量大にして其他食鹽、炭酸曹達も亦多し又炭酸次酸化鐵及遊離炭酸を含有す

鐵泉あり一を「アムロジウス」一を「カロリン」泉と云ふ一「リーテル」中に於て〇、一六瓦の重炭酸鐵を有す「マリエンバット」の主効を擧くれは左の如し

第一 全身病　第二 諸器の病　（詳細は略す）

「マリエンバット」にも亦療客娯樂の備へ欠くるなし（舞蹈、「コンツエルト」讀書室演劇等の設けあり

今夜八時五分「マリエンバット」停車場を發す九時三十分「フランツエンスバット」停車場に着す塲を出つるに一臺の馬車なし已むを得す「ホテル」の名を告け行人に問ふに道を以てす凡そ二十分にして「ホテル」に着す已に閉つ即ち鈴を鳴らして戸を開かしむ「ホテル」の名を墺國皇帝と云ふ又ベルンハルド氏の紹介に係る今夜天晴れ月明かに直に清液あり異郷萬里の月を眺め懷鄕の念頻りなりき麥酒一杯を飲み寢に就く

四月四日　天氣清朗なり六時床を出て咖啡を飲み直ちに家僕を從へ外出す先つ「フランツエンスクエル」に至る該泉は一千七百九十年帝フランツ二世位にありし時發見せられしと云ふ時に泉の入口閉鎖せるを以て入る能はす「フランツエン」泉輸出事務所に詣り刺を通して主幹に面し「フランツエンス」泉を見んことを乞ふ主幹快く之を諾し直に我を誘つて同行す途中ドクトルカルチー氏に遇ふ主幹之を余に紹介す氏はカルヽスバットの浴醫ドクトルカルチリー氏の兄にして此地の浴醫たり余即ち曰前日「カルヽスバット」に在るや令弟貴下の懇遇を蒙れり氏曰く

これあるか奇遇と云ふべし氏と別れ再び「ランッツエンス」泉に至り塲内に至り之を試むるに鑛泉に変ゆるに鹽味を以てし頗る炭酸に富む主幹我に告けて曰く「カル丶スバット」泉と「フランッツエンスバット」泉と其成分に於て大差なし只之は鐵を含むの點に於て彼れと殊なれりと

之れより主幹と共に「ザルッ」泉「ウキゼン」泉「スタール」泉等に至り一々之を味ふ大同小異記すへきなし終りに「モールバフト」に供する原料貯畜に至り同所にて「モール」を臼にて挽くの裝置を視其他二三浴塲の内部結構等を一覽す敢て他と異なるとなしと雖とも游泳浴に供する大なる浴室は余の初めて見たるものなりき

「フランッツエンス」浴塲は其泉水に於て有名なるのみならず「モノルハット」は此地を以て第一とすドクトルロイマン氏は大なる浴塲を有す主幹と共に一覽す皆「モール」浴なり氏か創設の際は只十二室なりしか今百二十の室を有するに至れり去年より氏は「フランッツエンス」泉鹽を擬造せり余に一瓶を贈れり「モール」浴の結搆は敢て異なるなし

「フランッツエンスバット」の「モール」は鉄を含有すると頗る多し蓋し「モール」は林間植物の枝葉根幹風雨に曝され漸く腐朽して生するものなれは「フランツエンスバット」の「モール」中には明かに植物纖維を見るを得べし「モール」浴を爲さんとするものは醫家の指揮に隨ひ其濃度と溫度とを定め乾燥したる「モール」を浴桶に容れ之に灌くに礦泉を以てし之を攪擾し後蒸氣を通して温かならしむ是を三樣に區別す

第一稀薄「モール」浴、　第二半濃「モール」浴

第三濃厚「モール」浴

「モール」浴一回に要する「モール」は五「メーテルッ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

エントチル」にして此中に溶解すへき硫酸曹達の量十「キログラム」あり

之をドクトルキッテル氏に聞く此「モール」浴の効を奏するは子宮に浸出物ある患婦には吸収を催進し又常に流産の癖あるもの及ひ不孕のもの等は此浴治に依りて子を擧ぐることを得せしむるの効ありと其他諸種神經病、痛風、僂麻質斯、慢性子宮及膣加答兒、子宮の位置及形狀の變、重病後の痙攣又は麻痺等に効ありと

（以下次號）

衛生叢談

古籾の試驗成績

此頃東京衛生試驗所村井技師の施行せる古籾試驗の結果は頗る衛生上の參考となるものあり因て今茲に其要領を意解して掲げんに

古米は其味ひ淡白にして消化れ易しとは世の中一般に唱ふる所にして多くの學者も其消化れ易きは年を經るに從ひて其糊精の増加するものありとせり此頃大日本農會の紹介によりて古籾二た種と新籾一種とを得たるを以て其成分に如何なる違ひあるかを試驗せり古籾の一種は東京府下北多摩郡多摩村の舊き家なる川崎平右衛門の祖先か元和元年（二百七十九年前より蓄へ置きしものなり他の一種は同村金井某の天明八年即ち今より百二十年前より蓄へ置きたるものにして其産地年紀等確しかなる又得がたき標本あり元和年間の籾は赤き色を呈し米粒大概同じくして臭味なく少しも虫喰等を見す籾の皮を剝けは米粒も亦同樣の色を具へ恰も小麥粉の如し之を碎けば其質稍々透き通りたる淡褐色にして碎け易く其質堅く且脆くして碎け易く味ひ甚た淡白にして粘着したる性弱し但し其籾の重さは籾の皮を去れは約そ二割を

減せり天明年間の籾は前の者に比ふれは却つて一層古き色を呈せり籾皮を除けは其量二割七分を減す而して其米粒も全く色澤を失ひ著るしく其質を變じ表面蒼白し又明治二十五年十月川崎方に於て收穫たる新米は籾皮を除けは亦二割を減せり

右三種の試驗の成績に依れは米は久しく之を保存すれは香味色澤の變化は勿論幾らか脂肪の減少を免れすといへとも他の成分に於ては新米と敢て大なる差なきか如し殊に天明年間の品は米質の變化著るしく随て脂肪氣の減じたるも亦甚だ多し依て考ふるに古米を炊きたる飯の粘ばくする力の乏くして味ひ淡白となり消化し易くなるは恐らくは糊精の增加するにあらざるべしと云へり

されば古米は淡白にして消化し易きものたりとの確かある試驗成績を得たれば老人小兒或は座業の人々には古米を食するは衛生上大なる利益ある者あり、

鯛田麩の分析試驗

此頃農商務省にて鯛田麩の分拆を爲せしに其成績は左の如しと依りて其要領を意解して揭げんに

鯛田麩は其色黃色を帶び能く乾したるものを採み碎きたる細末にして普通の魚肉を乾し燥したる臭さ味を有すれとも之を熱き湯に入れ煮立つれば稍ゝ乾燥し過ぎたる臭氣を放つ而して其味は更に鹽氣を有することなし其化學的成分を撿査するに其結果は左の如しと但百分中に含めるもの

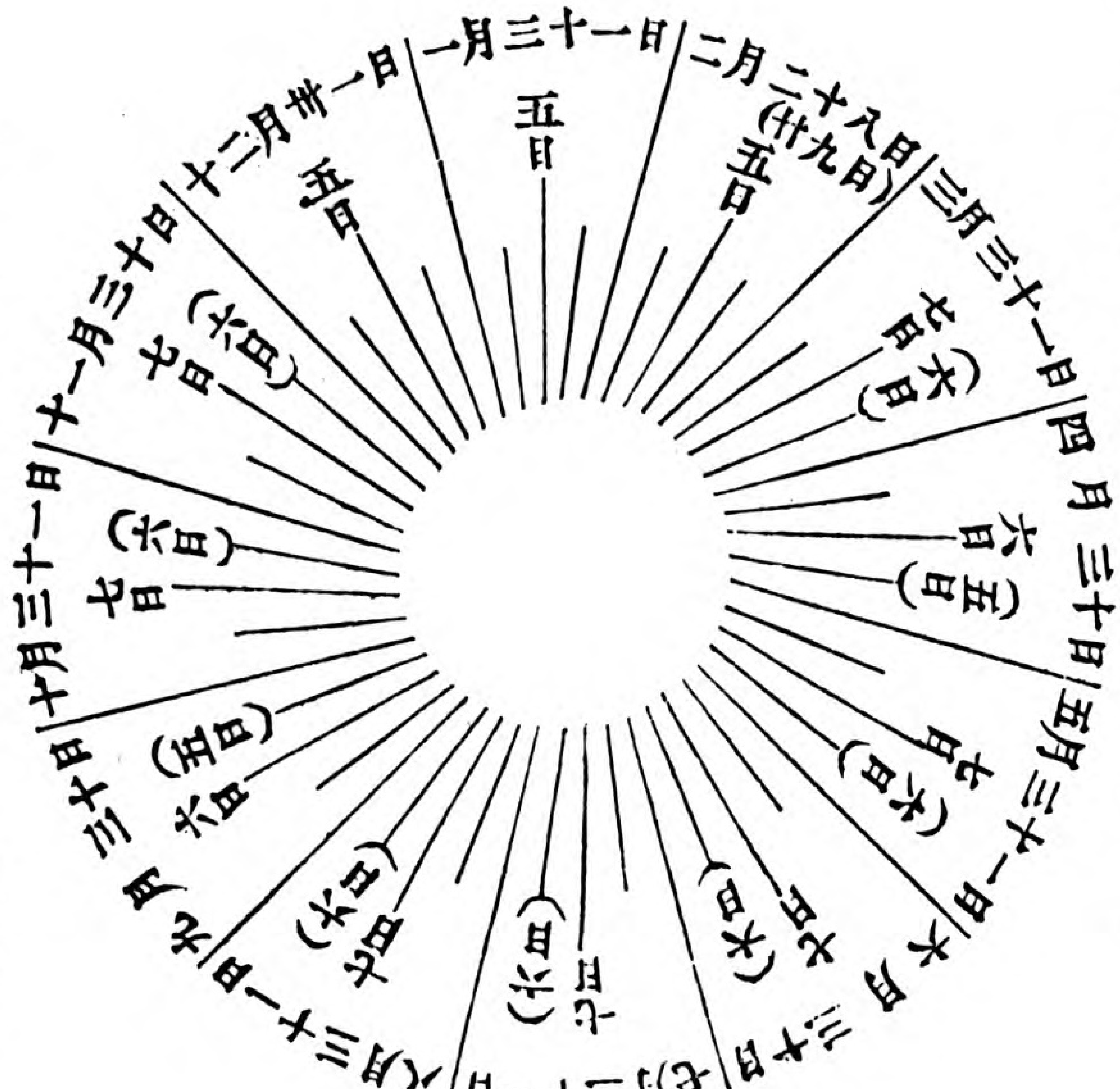
水分	一〇、六七二	蛋白質	七六、八四四
脂肪質	七、八四〇	灰分	四、六一九

元來食料品の價ひあるは人生缺くべからさる養ひ分を含むが故なり營養分とは含窒素物（蛋白質等）無窒素質物（脂肪質澱粉質）及無機質分（燐酸石灰等）之れなり故に食料品にして此三ッの者を含むことの多きと少きとは其價ひに大なる關係を有するも

のなり鯛田麩の成分は前に述べたるか如し殊に人生營養上大に必要なる蛋白質を含めること鮮しき肉より多きを以て考ふれは其良好食品たること明なり然るに此品の香氣は稍や乾燥し過ぎて恰も焦けたるが如き臭味あるは少しの瑕瑾と謂はさるべからす故に焙り乾かす時によく〳〵注意し乾燥宜ろしきを得ば大いなる改良を施せるものあり此種の田麩の如きは未だ化學的の研究を爲せるを見す從つて彼れと此れと比較することを得す大に遺憾とするところあり然れ共前に述へたる如き養ひ分を含み且永年の間貯へ置くことを得るを以て此種の食品廣く世の中に用ゐらるゝに至れば便利なること確く信じて疑はざる處あり

◉出産の期日を豫知する法

此法は一番終りに月經を見たる日より二百八十日先に算へて左の表を繰れば遂に分娩の期日を知ることを得べし先づ最後に月經のありたる月日を知り此月を除き先に九ケ月を算へ一月あれば二月より九ケ月算ふるか如しその算へたる月に於て又最後に來りし月經の日を覺へ置き之に表中に記したる日を加ふべしさすれば其月は分娩のある期月ありと



例へは最後に月經のありたる日を一月八日とすれは

二月より九ヶ月算へて同年十月八日と認め置き之に表中に記しある所の七日を加ふべし（但閏年には表中括孤の中にある日數を加ふべし）然る時は十月十五日は御産の日なることを知るべし又十月三十日を最後に月經のありたる日とすれば翌年七月三十日を認め置き之に表中の七日を加ふれば即ち分娩は翌年八月六日たることを知るなり

◉卷煙草の注意

煙草を吹かす事は當時の惡しき習慣にして其害毒のあることは人々の知る處なるか之れ又習慣となれは中々に止められぬ者なれども近時市内に煙草販賣店の多きことよ之れ一は諸學校幼年子弟の飲用する者多きに原因する者なるべし書生部屋に至れは何れの書生も大概は机の上に「オールドゴールド」「ビスマーク」「フラグランド」等新奇を競ひたる者堆高くシガーの空箱纍々として新着の煙草を飲用せざれは書生の中間入をなさざる物の如し之れは何にとか家庭の父母より嚴しく禁じられたきとなり殊に當時坊間に販賣する卷煙草の吸口又は其中央に金色の商標を附したるは常に見る所なるか彼の金色は銅の粉末にして其吸ひ口にあるものは直接に口に入り中央にあるものは煙りと共に口中に入り銅の中毒に罹る恐れなしとせす且又近頃油斷のならぬことは滊車中なとにて掏兒の如きは卷煙草中に鳥片を入れ置き乘客の退屈に乘して之を飲用せしめ精神を昏迷せしめて其貨物を奪ひ去るに至るといふ

◉鼻毛剃去の害

何れの理髮店に於ても鼻毛を剃ることは一の習はしとなり居るか右は健康を害ふものと云ふべし尤も之れは御婦人には余り御用のなきことなから殿方には別けて御注意緊要なりされども殿方にして鼻毛三千丈ともなれば奥樣の御心配さることなから鼻毛の如

きは自然に發育せるものにして之を剃り去る時は塵埃を迎ふることあるのみならず剃刀の不淨なるより爲めに鼻の中に腫れ物を生じ梅毒等引受けたるもの往々にして之あり且又隨て剃れは隨て太く生へ季節至れば鼻の中ムズ〳〵として之を剃れば倘々カユ味を增すものなれば衛生上注意すべきことなり

◉生命の危險

泰西の醫大家某氏は嘗て曰く幼年より老年に至る間に動もすれば生命を危くするの重なる原因を列擧したる由なるが襁褓期即赤兒時代に於ては食ひ過ぎに原因し、弱年期之に繼き、少年期には朝寢の害より起り、壯年期には濫婚即ち濫りに婚姻するの弊害、中年期に至りては食ひ過に失し、老年期に於ては薄衣の爲め皆己の生命を短縮すべしと云へり、

◉水道工事

本府に於ても水道工事に着手せられ過日淀橋淨水工事起工式を擧けたり其溜池は沈澄池濾池淨水池の三個に區別し沈澄池三個の容積は人口百五十万に當る一日半分の水量を入れ得べき樣に構造し倘他日增加の必要ある時の用意に場内に豫備池を存せり而して其水をして十二時間靜止せしめて沈澱せしむる裝置なり

又濾池は十四池に分ち各池の周圍長さ百五十八尺巾百六十八尺深さ九尺掃除其他豫備の爲めに別に四個を設け此處にて水を濾す處とす

淨水池は人口百五十萬に對する十二時間分の水量を容るゝ所にして之を三工場に分ち煉瓦を以て蓋をなし塵埃其他有害物等の入らざる裝置となし又各工場に四組宛のポンプを備へ其工事實に壯大にして完美すと云ふべし左れは東京市民の淸水を飮用して且水利の便を得るも又近きにあるべし

◉小兒膣の黴菌

ストロゴノッフ氏は齢四才より八才に至る幼女三十三名の膣に就て黴菌學上の撿査を爲したりしか其結果は左の如くありと云ふ

(一)小兒出生してより後速に之を撿する時は膣には全く黴菌を存することなし

(二)ソレより月日を經るに從ふて其膣に黴菌を存せざるものなきに至る

(三)初生兒始めて浴するの後には其膣には多量の黴菌を存す

(四)右の黴菌は一分は浴みに用うる水と共に入るものあるべし

(五)之を要するに幼女のは膣黴菌の發育には善良の場所なり

(六)ス氏は未だ病的の黴菌を發見せずといふ

●鰻の毒

近時羅馬府の大學院に於て驗究せし所に據れば鰻若くはあなごの類は總べて人體に有毒にして其毒は蝮のものと同質なりと其毒の量は目方二キロクラーム(凡三百三十匁餘)の鰻の肉には正に十人を毒殺するに足るものを有すると云ふ尤も此等の肉は之を食するに當り高度の溫熱の下に於てよく蒸消するときは其毒は滅し去る由我が國にて鰻を熱湯の中に投じて調理するは即ち自然の學理に協ひたるものとや謂ふべし先には鰻の骨にて肺病を癒すと云ひ之れは又高度の溫度を以てせざれば鰻に毒ありと云ふ一利一害あるものかな

●大陰嚢の切斷

和歌山縣西牟婁郡美呂村の田島某といふが西長堀自然堂病院にて象皮病に罹りたる大陰嚢切斷の治術を受たるが其切斷したる皮は厚さ一寸二分强、量目十八ポンド(二貫百六十目)ありしが患者は切斷後別に異狀なく健全なりと大きなものかな

◎小兒の食物注意

本所區千歲町の仕立職北原某の長男嶋吉は二三日前の午後三時頃表へ來た飴屋からくだり飴の打ッ欠きを買て貰ひしやぶりながら遊んで居るうち頓にウンと言て倒れたので兩親は仰天し直に近邊の醫士某を呼で見て貰ふと全く飴が咽喉へ引掛つたと分り直ちに手術を盡しやう〳〵鍵で飴を引き出し危い命を取止めし由小兒の喰べ物には注意すべき事にこそ

◎九州地方の味噌釀造法

我國人に一日も欠くべからざるの必需は米味噌に如くはなし然るに味噌の釀造法に就ては各地多少の異同あり特に九州地方と奥羽地方とは著しき相違にて經濟の點よりするも味の點よりするも九州地方の釀造法に從ふ方が利益なりとのことにて此事に關し宮城郡の高田某氏は數年間九州に遊びし際種々取調べたる其比較的の成蹟によれは

奥羽地方釀造法

種目		金員	壹升の價
大豆	壹石	五圓三拾錢	五錢三厘
麹	六斗	五圓〇八錢	六錢八厘
鹽	五斗	六拾四錢	壹錢二厘
人夫	六人	壹圓〇四錢	壹人前拾八錢
小計貳石壹斗		拾壹圓六錢	
利子三ヶ年に對する一割五分四圓九拾八錢			
合計		拾六圓〇四錢	

九州地方釀造法

種目		金員	壹升の價
麥麹	壹石三斗五升	七圓	五錢二厘
大豆	四斗	貳圓拾二錢	五錢三厘
鹽	四斗	四拾八錢	壹錢二厘
人夫	二人	三拾六錢	一人前拾八錢
小計貳石壹斗五升		九圓九拾六錢	

利子二ヶ月に對する一割五分二拾五錢

合計　拾圓貳拾壹錢

差引九州醸造法の利益多きと五圓八拾三錢

右は宮城縣管下一般の味噌醸造法と九州地方の醸造法との損益を比較したるものにて本縣の味噌は大概ね三ヶ年を經て食に供するは舊來の習慣なるも九州味噌は僅かに五十日内外を以て食用に供するの習慣にて其味の如何を見るに我三年味噌よりも却て佳良なりと云ふ、若し果して然りとせば九州法は醸造後直に供食の便利あるのみならず、仕込原料の代價に利子の附加し行くものとすれば經濟上にも至極恰好なるべく之を一般に擴むるに於て地方全体の經濟にも大なる影響を有すべければ爰に掲げて江湖の參考に供すと奥羽日々は掲載せり

◎生玉子の味噌漬

時事新報に生玉子を味噌漬にする方法を書き載せ置たり先づ丼へ一杯に味噌を入れ美濃紙を凡三寸四方位に切り丼の大さに應じて所々に置き偖未だ壞さぬ玉子の先にて一々紙を押しグッと味噌の中へ穴をあけ其穴へ、外の味噌へ附かぬ様に玉子をこわし入れ其儘ソーと戸棚に三日程仕舞ひ置きて出して御覧なさい、生玉子は其儘まんまるに奇麗に固まりて丸で菓物か何かの砂糖漬の如く知らぬ人には玉子と分らぬ程なり味噌の味ひ程よく附きて口あたりも柔かに酒の肴か一寸朝餉のおカズなどに實に妙なり又右様にして塩に漬ける時は早く固まれども塩からくて砂糖を振らねば食べられず、味噌に少し砂糖を交ぜるは好けれど日數四五日の長きを要すと云ふ珍らしき料理かな

◉野菜物商況

本年大根は大當りにて安價なり又漬菜は三河島本場等大外れ筍の子は去月上旬より神田の市場に現れ

しも高價なり山葵は近頃鮪の大漁の爲め益々高し

淺草海苔　品川灣の海苔は本年は海苔の附き方惡しく本年は不作の方なりといふ

◉諸會景况

大日本婦人衛生會懇親會景况

十一月五日午前十時より小石川砲兵工廠内後樂園に於て秋季懇親會を開きたり此日や朝は天氣摸樣惡しかりしを以て來會者も定めて少數ならめと思ひしに幸なる哉八時頃より俄に快晴の好天氣となりしにより會員の參集するもの引きも切らず總員無慮二百七拾余名の多きに及びたり定時に至り總裁　小松若宮御息所殿下にも御臨場あらせられ開會の式終れば先隨意に園内の散歩をなし餘興としては山下利助氏の薩摩琵琶演奏あり金剛石、若木の櫻を演ぜしが中々に壯快なりし是にて休憩會員に用意の折詰菓子等を分ち晝飯終りてよりは山室撿校萩岡諸氏の得意なる鶴の巣籠の合奏ありて各々其妙技を振ひたり右終りて喜樂亭喜昇軒のチヤリ淨瑠璃あり外題は三國無雙奴請狀　關所の段にて其滑稽諧謔なる人をして抱腹せしめたりき招待員には本會に關係ある貴顯紳士新聞記者等にして池邊水淸き老樹蟠屈の下に團欒して酒肴の饗應あり酒間薩摩琵琶を演奏せしめて酒興を添へたり此日や至て長閑となりしを以て會員思ひ〱に尙園内を逍遙し歡を盡して五時頃全く散會せしが中々の盛會なりき

今後樂園の略記を揭げんに今を去ること二百有余年水戶の始祖　源　賴房の創設する處にして初め賴房江戶の邸に山水を經營せんと欲し家臣某をして其地形を相せしめしに小石川本妙寺及吉祥寺ある所の地形最　山水を營造するに適するを以て兩寺を駒込に移し茲に此邸園を創設するに至れりといふ之を經營す

るに當りて力めて天然の地形により高きに山を造り卑きに水を通し天然と人工とを用ひて山水の眞景全く具り幽邃閑雅仙郷に遊ふの想あらしめたり後水尾院御叡覽あらせられ御感斜ならず之より天下名園の名を得たり園名は源光國明の遺舜水朱子瑜に命して撰ばしめしものなりといふ其意先ニ天下之憂ニ而憂後ニ天下之樂ニ而樂むの語を取りて後樂園と名けしとかや寛文以來數度の地震によりて園景を毀壞せしもの多く今尙存するものは十中の三四なりと云へども見るへきもの甚た多しされば尙園內の摸樣を記さんに先ヅ砲兵工廠を入り恰んど二町許りにして唐門あり舜水書する所の扁額あり之れ中庭より外苑に出るの門なりしと之を入るに右には松杉生ひ茂り左りには潺緩たる龍田の川流あり水淸くして掬すべく未た紅葉の觀なしと云へとも秋色想像するに餘りあり林間氣淸き所を右に縈り左に廻りて丘陵を下れは平坦の地に達す前面に大なる泉水ありて池中架するに圓月橋、渡月橋、通天橋等を以てす圓月橋は舜水の設計にかゝるものにして通天橋は紅葉に名あり林間磊々たるは瀑布のかゝるあり實に仙窟の思ひをなせり今池邊の丘陵にある著名なるものを擧げんに白雲嶺は眺望によろしく中の島には辨財天西行堂には西行の像を安置す此堂は一に簞瓢亭と號し柳陰の額及ひ柳陰の碑あり碑面は齊昭の夫人貞芳院の書する所にして裏面は佐藤一齋の撰文幷に書なりといふ涵德亭に額あり林大內記信篤の書する所流球山には躑躅多く大堰川には腰掛石及手拭掛けの松あり西湖の堤は唐の西湖を摸したるもの鬱々たるの樹間には淸水觀音堂あり何れも古雅なりこゝより富士山を望むによろしく其下には古しへ音羽の瀧ありしといふ駐步泉には齊昭書する所の碑あり八卦堂には文昌星の像を安置す其他埋鏑之碑、小町の井、松原、唐崎の松等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あり今其廢したるものは櫻の馬場、蓬來の瀧、鳴門、琴書亭小廬山の碑八ッ橋、九八屋（酒店）大黒山の福錄壽堂丸屋（茶店）御船入等ありといふ眞に天下の名園と云ふべきあり

◎役員御招待　去月十八日総裁　小松若宮御息所殿下には本會役員を御邸に召され一同種々厚き御待遇を蒙りしといふ感佩の至に堪へざるあり

◎大日本醫會の發會式　仝會は去月十三日を以て其發會式を擧げ仝日は午前九時より日本橋區坂本町なる東京醫會本部に於て會議を開き正副議長の撰擧を行ひたるに正議長に高木兼寛君副議長に長谷川泰君當撰し其他規則の修正等ありて午後六時頃より上野精養軒に於て懇親會を張りしか列る者凡百餘名酒間奏樂起り演說あり中々盛會ありしと

廣告

●十一月中入會者左の如し

◎幹事濱田すて子の紹介により

麴町三番町五十一番地　通常會員　矢守つや子

◎賛成員齊藤澤吉君の紹介により

日本橋小傳馬町三丁目　賛成員　大竹武吉君

◎幹事中野ゑつ子の紹介により

芝區三田二丁目十四番地　賛成員　松山棟菴君

同所　通常會員　松山夫人

麻布永坂町一番地　通常會員　嶋崎登久子

本郷駒込富士前町三番地　通常會員　伊知地ひさ子

◉會員後藤雪子の紹介により
麻布本村町百五十四番地
通常會員 藤田聞子

◉盲啞學校吉川金藏君の紹介により
小石川指ヶ町盲啞學校 石川さの子

◉通常會員梁瀬松子の紹介により
日本赤十字社 藤野鶴代子

◉會員藤野鶴代子の紹介により
日本赤十字社 大久保錬子
仝 増田乙喜代子

◉通常會員岡村靜枝子の紹介により
京橋宗十郎町十一番地 瀬下薫子

◉通常會員井上もと子の紹介により
第一醫院 町田とみ子
仝 日下田つる子

◉幹事南部隈子の紹介により
栃木縣河内郡宇都宮馬場町四十番地
通常會員 中山きく子

◉通常會員中村きく子の紹介により
第一醫院 加藤てい子

轉居

一醫科大學第一醫院へ 井上もと子
一牛込南町二番地へ 渡邊たつ子
一廣島縣廣島市大手町八丁目百六十一番屋敷へ 川村もと子
一京橋區南鞘町廿三番地へ 生沼さと子
一長崎縣南松浦郡福江村五百三十四番戸へ 吉富しも子
一青山南町七丁目へ 長井長義君
一千葉縣千葉町千十四番地 河村孝子

退會

太田なみ子 赤司鋼子 酒井か代子

◎改姓 通常會員 山田きく子は 鹿兒島きく子と改姓せらる

御注意

◎本年も最早**月迫**に相成**帳簿の整理**上都合も有之候間會費未納の方は本會事務所宛**急至**御送附被成下度候也

大日本婦人衛生會

美術輕便四季生花調製

一挿花用枝花　花籠　鉢植　花簪

其他御好次第

向寒之折柄水冷ゑて眞花萎み易く御座敷多の貴顯紳士の御宅に常に鮮花を花瓶に絕さざらんと思召は隨分共に六ヶ敷殊に眞花の少なき時節價も高く隨て費も亦多し私調製の生花は水を入るゝの世話もなく枯れ萎むの憂もなく四季の花もの何時にても御詠めに入り何日經ちても色變る事なく詠むる樣は眞花と更に異なる事なし價とても高からず至便至益のものなり御葉書にて御注文被下候得は直に參上御用伺ひ上候

本所區相生町四丁目十七番地第五號丸橋方

中谷ゑつ

明治二十一年二月二十八日内務省許可

活版印刷廣告

弊店は久しく本雑誌印刷の榮を荷ひ御蔭を以て日増に繁昌に趣き候段奉鳴謝候尚一層勉强仕候間御引立の程偏に奉希願候

印刷は鮮明、紙質、インキは佳良、

代價は低廉にして且ッ迅速

御名刺は歐米諸國の流行に傚ひ優美高雅に調進仕候

「はがき」にて御注文の節は早速見本持參可仕候其節「はがき」は返上仕可候

印刷所 神田旅籠町二丁目 廣業館

明治廿六年十一月廿九日印刷

明治廿六年十二月一日發行

東京下谷區練塀町四十三番地 發行所 大日本私立婦人衛生會

東京牛込區矢來町三番地 編輯兼發行者 田中徳三郎

神田區小柳町十三番地 印刷者 小高良造

神田旅籠町貳丁目拾一番地 印刷所 廣業館

明治二十六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行

（定價金十錢）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN